

令和4年度 環境経営レポート

活動期間 (対象期間 令和4年4月～令和5年3月)



 株式会社 利 昌

<http://www.risho-gr.co.jp/>

発行日 2023年 5月31日

環境経営レポート 目次

1) 組織の概要	P 1 ~ P 7
2) 対象範囲	P 8
3) 環境経営方針	P 9
4) 環境経営目標	P 10
5) 環境経営計画	P 11
6) 環境経営計画に基づく取組内容	P 12
7) 環境経営目標に対する実績	P 13
8) 環境関連法規の遵守状況	P 14
9) 代表者による評価と見直し・指示	P 15

1 組織の概要

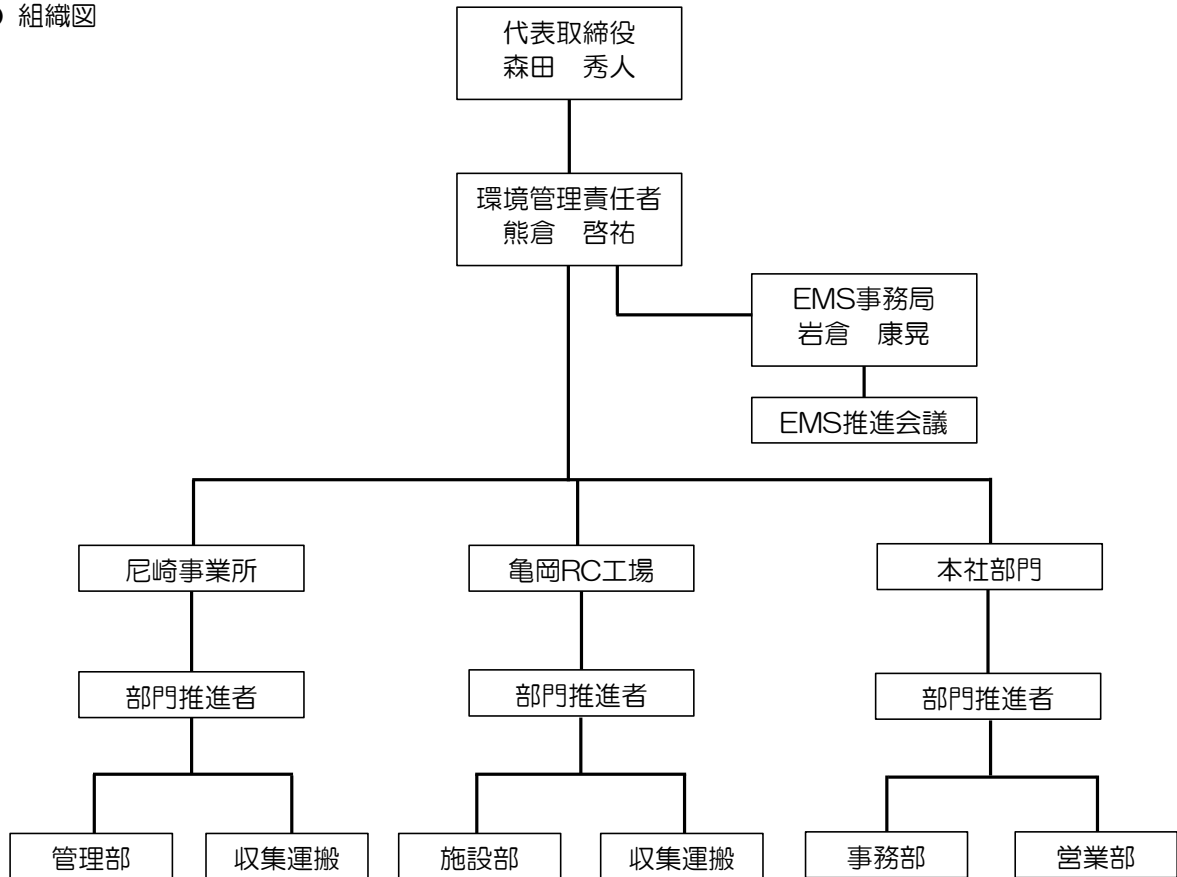
- 会社名 株式会社 利昌 代表取締役 森田 秀人
- 設立 昭和 63年 3月 11日
- 資本金 5,000万円
- 所在地
 - ・本社 大阪府豊中市庄内宝町2丁目9番34号
TEL 06(6334)2518
FAX 06(6334)2545
E-mail info@risho-gr.co.jp
URL http://www.risho-gr.co.jp
 - ・尼崎事業所 兵庫県尼崎市南初島町4番1
TEL 06(4868)0381
FAX 06(4868)2828
E-mail kk-risho.amagasaki@risho-gr.co.jp
 - ・亀岡RC工場 京都府亀岡市西別院町犬甘野椎ヶ原46番
TEL 0771(27)7201
FAX 0771(27)7202
E-mail kk-risho.rc@risho-gr.co.jp
 - ・積替保管施設 尼崎事業所内
 - ・積替保管施設 三重県津市安濃町妙法寺518
- 事業内容 産業廃棄物・特別管理産業廃棄物の収集運搬業（積替え保管を含む）、
産業廃棄物中間処理業および総合リサイクル事業
- 事業規模

		令和 3年度	令和 4年度
売上高		777,385千円	661,421千円
従業員		26名	25名
土地面積	本社	210m ²	
	尼崎事業所	1,980m ²	
	亀岡RC工場	6,606m ²	
建物面積	本社	286m ²	
	尼崎事業所	106m ²	
	亀岡RC工場	1,379.19m ²	
廃棄物収集運搬量		10,071 t	8,264 t
産業廃棄物中間処理量		350t	309t
リサイクル品出荷量		1,434 t	1,400 t

※売上高は決算数値
(毎年1月決算)を適用

環境経営体制

● 組織図



役職	役割・責任・権限
代表取締役	・環境マネジメントシステムの総責任者
	・環境経営方針の決定
	・環境管理責任者の任命
	・全体の取り組み状況の評価と見直し
	・資源（人員・設備・費用）の準備
	・環境経営方針、環境経営目標の提案
環境管理責任者	・環境経営目標及び環境管理システムの承認
	・環境経営活動の実施状況及び取り組み評価の確認
	・環境経営方針の周知と環境教育の実施
	・環境経営レポートの確認
事務局	・文書の作成管理
	・システム運用上の事務管理
	・環境経営活動の実施計画と実績とりまとめ
	・環境経営レポートの作成
各部門推進者	・環境経営目標達成のための部門の活動推進と実績管理
	・環境教育の実施
全従業員	・方針を遵守し、目標を達成するため積極的に参画

● 環境管理責任者

熊倉 啓祐

TEL 06(6334)2518

産業廃棄物処理業における施設等の状況

● 収集運搬車両

車両形式	台数	最大積載量	車両形式	台数	最大積載量
2t平ボディ	2台	2,000kg	3tバキューム	1台	3,200kg
4t平ボディ	4台	3,300~3,950kg	10tバキューム	2台	10,650kg、11,000kg
8t平ボディ	1台	8,200kg	2tブロー	1台	2,400kg
15t平ボディ	1台	13,300kg	9tブロー	1台	9,000kg
4tウィング	2台	2,750kg、2,850kg	フォークリフト	5台	
13tウィング	2台	13,100kg、13,500kg	ローダー	1台	
4tコンテナ	2台	3,600kg、3,850kg	コンボ	1台	
6m3ローリー	1台	5,490kg			
12m3ローリー	1台	10,100kg			



● 積替保管施設

所在地	面積	高さ	保管上限	種類
兵庫県尼崎市南初島町4-1	156.1m ²	容器保管	20m ³	汚泥
		//	54m ³	廃油
		//	9m ³	廃酸
		//	48.5m ³	廃アルカリ
		//	8m ³	廃プラスチック類
	35m ²	//	7m ³	引火性廃油
		//	9m ³	腐食性廃酸
		//	9m ³	腐食性廃アルカリ
三重県津市安濃町妙法寺518	36m ²	//	4m ³	汚泥
		//	6m ³	廃油
		//	2m ³	廃酸
		//	2m ³	廃アルカリ
	20.4m ²	//	4m ³	引火性廃油
		//	2m ³	腐食性廃酸
		//	2m ³	腐食性廃アルカリ



その他 おもな設備

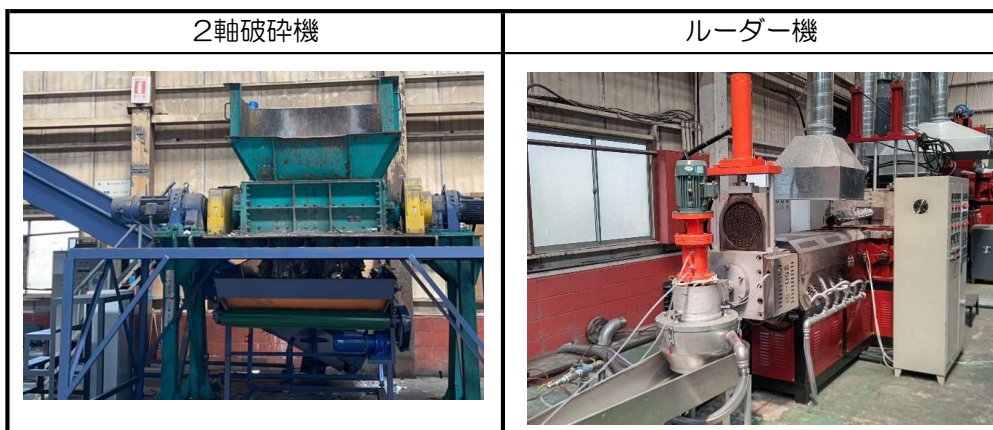


● 中間処理施設（破碎施設）

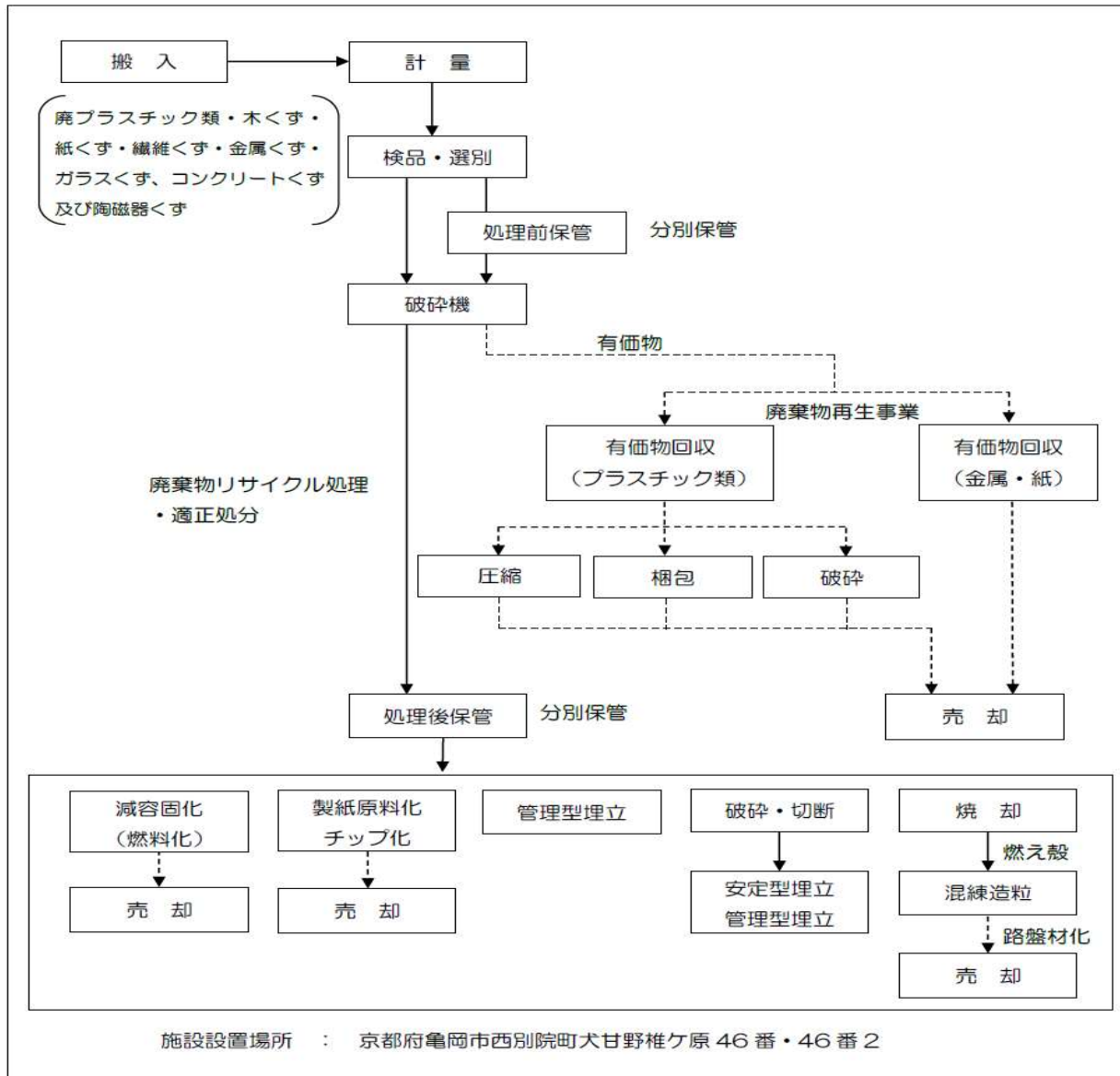
処理する廃棄物の種類	処理能力	処理方式
廃プラスチック類・紙くず・木くず・ 繊維くず・金属くず・ ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類： 4.88 t / 日（8時間） 木くず： 4.48 t / 日（8時間）	破碎

その他 おもな設備

事業場	おもな設備		
亀岡RC工場	2軸破碎機	1軸破碎機	圧縮減容機
	ルーダー機	ペレタイザー	シートマシン



● 処分施設（亀岡RC工場）の処理フロー



産業廃棄物処理業の許可の状況

● 許認可一覧

許可の種類	許可内容	許可番号	許可年月日	有効期限
産業廃棄物収集運搬業		別欄記載		
特管産廃収集運搬業		別欄記載		
産業廃棄物処分業		別欄記載		
廃棄物再生事業者	廃プラスチック類・紙くず・金属くずの再生	京都府 第96号	H24.2.28	(期限なし)
古物商許可	古物の売買	大阪府 第622330102938	H1.9.18	(期限なし)
金属くず商許可	金属くずの売買	大阪府 第4818号	H1.5.11	(期限なし)
		兵庫県 第1331500001	H27.2.10	(期限なし)

産業廃棄物の処理実績

● 年間取扱量 収集運搬

産業廃棄物	数量 (t)	特別管理産業廃棄物	数量 (t)
汚泥	1,074	汚泥	14
廃油	2,839	廃油	2,183
廃酸	57	廃酸	71
廃アルカリ	660	廃アルカリ	282
廃プラスチック類	903	鉱さい	0
紙くず	0	燃え殻	0
木くず	78	廃石綿等	0
繊維くず	0	廃水銀等	0
動植物性残さ	15		
金属くず	26		
ガラス陶磁器くず	16		
がれき類	0	有価物	数量 (t)
鉱さい	25	有価プラスチック	701
燃え殻	19		
水銀使用製品産業廃棄物	2		

処分(中間処理)

産業廃棄物	処分方法	数量 (t)
廃プラスチック類	破碎	272
紙くず	破碎	0
木くず	破碎	32
繊維くず	破碎	0
金属くず	破碎	4
ガラス陶磁器くず	破碎	1.4

リサイクル品(加工・販売)

品名	加工方法	数量 (t)
プラスチック類	粉碎・圧縮・リペレット	1,400

● 環境関連業務資格保有者

資格の種類	人数
(特管)産廃処理業の許可申請講習会(収集運搬課程)	1名
(特管)産廃処理業の許可申請講習会(処分課程)	1名
産業廃棄物処理施設技術管理者	1名
毒物劇物一般取扱者	1名
危険物取扱者(乙種4類)	9名
有機溶剤作業主任者	1名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	2名
安全運転管理者講習	1名
フォークリフト運転技能講習	13名
高所作業車運転技能講習	1名
移動式クレーン運転業務特別講習	2名
玉掛技能講習	3名
普通救命講習	2名

2 対象範囲

● 認証・登録組織名 株式会社 利昌

● 認証・登録範囲

1) サイト

本 社	大阪府豊中市庄内宝町2丁目9番34号
尼崎事業所	兵庫県尼崎市南初島町4番1
	(特管) 産業廃棄物収集運搬業積替え保管施設
亀岡RC工場	京都府亀岡市西別院町犬甘野椎ヶ原46
	産業廃棄物中間処理施設

2) 要員 正社員・パートを含む全従業員

● レポート対象期間 令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日

● レポート発行日 令和5年5月31日

3 環境経営方針

経営理念

株式会社利昌は、環境保全を創造することを企業使命とし、地域社会の生活や文化に貢献する集団を目指します。

1. お客様・社会が求めるニーズに応え、高いサービスを提供します。
2. 効率的な事業運営と基盤強化により持続的に企業価値を高めます。
3. 公正で透明性の高い企業風土を確立します。
4. 企業市民として責任を自覚し、地域社会との共存共栄を目指します。

環境理念

当社は、資源の枯渇や環境汚染、生物多様性などさまざまな地球規模での環境問題に対し、廃棄物処理事業を通じて循環型社会ならびに低炭素社会形成のため、環境負荷を低減すべく環境マネジメントシステムを導入、継続することにより継続的に環境保全活動に取り組みます。


活動指針

1. 環境関連法令、条例や規制等を遵守します。
2. 次の事項を重点施策として取組み、継続的な改善を図ります。
 - ① 二酸化炭素排出量の低減
 - ② 廃棄物排出量の削減
 - ③ 水の使用量の低減
 - ④ グリーン購入の計画的な推進
 - ⑤ 受託した産業廃棄物の収集・運搬、処分における環境配慮
 - ⑥ 化学物質の適正管理
3. 環境保全の意識向上のため、環境に関する教育を継続的に実施します。
4. 地域コミュニティの一員として、積極的にボランティア活動に参画します。
5. 環境方針を全従業員に周知・徹底します。
6. 環境への取組みを活動レポートとして社内外に公表します。



制定日 : 平成18年10月 1日

改訂日 : 令和 3年 4月 1日

 株式会社 利昌

代表取締役

森田 秀人

4 環境経営目標

● 中長期目標

項目	単位	基準 (令和3年度 実績値)	目標			
			R4.4~R5.3	R5.4~R6.3	R6.4~R7.3	R7.4~R8.3
1 二酸化炭素排出量の削減 (比率)	原単位 (総kg-CO ₂ /売上千円)	0.62	0.61	0.61	0.60	0.60
	%		-1%	-2%	-3%	-4%
2 一般廃棄物排出の削減 (事業系ごみ) (比率)	kg/年	838	830	821	813	804
	%		-1%	-2%	-3%	-4%
3 水使用量の削減 (比率)	m ³ /年	656	653	649	646	643
	%		-0.5%	-1%	-1.5%	-2%
4 化学物質の適正管理	運搬・保管時の適正な取り扱い	適正管理	適正	適正	適正	適正
5 収集運搬の効率化の推進 (比率)	走行距離/売上額 (走行1kmあたりの売上額)	1,919円	1,929円	1,938円	1,948円	1,957円
	%		+0.5%	+1%	+1.5%	+2%
6 グリーン調達の推進 (比率)	% (購入割合) 【対象購入額/総購入額】	83%	83%	84%	84%	85%
	%		+0.5%	+1%	+1.5%	+2%
7 社会貢献・地域コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所周辺美化活動 ：毎月1回以上 ・施設見学・情報交換会の実施：随時 	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施	継続実施

5 環境経営計画

No	方針	取組項目	活動計画の内容	部門
1	二酸化炭素 排出量の削減	電力使用量の 削減	①不要時の消灯・間引き ②エアコンの温度管理（冷房27±1℃・暖房22±1℃） ③OA機器のスイッチオフの徹底 ④エネルギー効率の高い機器導入 ⑤亀岡RC工場の生産ロス低減	全社
		燃料の削減 （ガリリ消費量） （軽油消費量）	①アイドリングストップ ②燃費にe運転 ③車両点検整備の遵守 ④燃費のよい車両の導入	全社
2	廃棄物発生量の削減	一般廃棄物の削減 （事業系ごみ）	①裏紙・両面利用と使用済封筒の再利用 ②分別の徹底 ③会議のペーパーレス化	全社
3	水使用量の削減	節水の徹底	①水道蛇口のコまめな開閉 ②洗車・洗濯時の適正水量	全社
4	化学物質の適正管理	運搬・保管時の適正な取り扱い	①容器の破損、腐食の有無の確認 ②キャップ、ネジの閉鎖の確認、増し締め	尼崎
5	自らが受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	収集運搬の効率化の推進	①効率の良いルート回収の配車 ②適正な積載量 ③車両の走行ルートの把握・管理	尼崎 亀岡
6	グリーン調達 の推進	事務用品のグリーン購入推進	①グリーンマーク指定商品の購入 ②購入基準の検討と作成	全社
7	社会貢献・地域コミュニケーション	地域ボランティア・環境保全啓発活動	①定期周辺清掃（毎月1回） ②地域イベントの参加 ③施設見学・情報交換会の実施	全社
6	化学物質使用量の削減	化学物質使用量削減の提案	①顧客への適正管理・処理の提言 ②代替薬品類の提案	全社

6 環境活動計画に基づく取組内容

No	方針	取組項目	活動計画の内容	評価と次年度の取り組み計画	部門
1	二酸化炭素排出量の削減	①電力使用量の削減	①不要時の消灯・間引き ②エアコンの温度管理（冷房27±1℃・暖房22±1℃） ③OA機器のスイッチオフの徹底 ④エネルギー効率の高い機器導入 ⑤亀岡RC工場の生産ロス低減	電力使用量：目標431,327kWhに対し、実績434,377kWh（達成率99.3%） ・主に亀岡RCにおける適正な電力使用量数値の設定及び、使用量の抑制に取り組みます。 ・本社、尼崎事業所においても継続して節電（適切なエアコン使用、無人箇所の電力の抑制）を行います。	本社
		②燃料の削減（ガソリン消費量）（軽油消費量）	①アイドリングストップ ②燃費にe運転 ③車両点検整備の遵守 ④燃費のよい車両の導入 ⑤積載重量の適正荷重	ガソリン消費量：車両燃費目標25.6km/ℓに対し、実績25.7km/ℓ（達成率100.4%） ・効率的なエリアドライブやアイドリングストップなどさらにe運転・ハイブリットカー導入を推進します。 ・急のつく運転の防止（ゆとりのある運転）の推進 軽油消費量：消費量/売上の目標0.12に対し、実績0.14（達成率85.7%） ・低燃費車両の導入を今後も継続的に進めていく。 ・適正な積載量、エコドライブ、アイドリングストップの推進 ・効率のよい収集運搬計画を随時立てる。	本社
		③二酸化炭素排出量の削減（①+②）	上記①電力使用量の削減及び②燃料の削減の活動計画内容の実施	・①電力使用量の削減及び②燃料の削減の活動計画内容を実施した結果、二酸化炭素排出量の削減：目標0.61kg-CO ₂ /千円に対し、実績0.71kg-CO ₂ /千円に（達成率85.9%） ・前年度と比べて売上高は▲14.9%と売上高が減少（処理場の変更があり、それに伴う契約変更が完了していない為）次年度は変更に伴う処理場の契約変更を終わらせ、収取運搬の効率化を図っていく。 ※今回のレポートでは会計年度（R4.2月～R5.1月）の数値を使用。次年度分より活動年度へ変更するかは現在検討中。	本社
2	廃棄物発生量の削減、受託した廃棄物の再資源化	一般廃棄物の削減（事業系ごみ）	①裏紙・両面利用と使用済封筒の再利用 ②分別の徹底 ③会議のペーパーレス化	一般廃棄物の削減：目標830kgに対し、実績786kg（達成率105.6%） ・書類の電子保管（PDF）管理可能なものについては、電子管理化を促進し紙の使用量の更なる削減に努めたい。 ・物品購入時に簡易包装など、廃棄物となるものを社内を持ち込まないように個々が意識して取り扱うことも必要なため周知を図ります。	本社
3	水使用量の削減	節水の徹底	①水道蛇口のごまめな開閉 ②洗車・洗濯時の適正水量	水使用量：目標653m ³ に対し、実績550m ³ （達成率119.8%） ・洗車時、社屋清掃時における節水の推進により使用量の削減は達成できた。また次年度の目標数値の設定をより少ない数値設定を検討したい。	本社
4	化学物質の適正管理	運搬・保管時の適正な取り扱い	①容器の破損、腐食の有無の確認 ②キャップ、ネジの閉口の確認、増し締め	化学物質の適正管理 ・飛散、漏洩などの事故はなかった。引き続き適正管理に努める。	本社
5	自らが受託した産業廃棄物の収集運搬における環境配慮	収集運搬の効率化の推進	①効率の良いルート回収の配車 ②適正な積載量 ③車両の走行ルートの把握・管理	運搬車両走行1kmあたりの売上額の向上：目標1,929円に対し、実績1,571円（達成率81.41%） ・処分先の分散化があり目標未達となる。 ・引き続き効率の良いルート回収を図る。 ・適正な積載量の確保 ・各セクションでの情報共有、効率の良い配車の協議	尼崎 亀岡
6	グリーン調達 の推進	事務用品のグリーン購入推進	①グリーンマーク指定商品の購入 ②購入基準の検討と作成	指定商品の購入：目標83%に対し、実績87.9%（達成率106%） ・目標は達成を継続中 ・購入品も無駄のないように努める。 ・引き続き継続してグリーン購入に取り組みます。	本社
7	社会貢献・地域コミュニケーション	地域ボランティア・環境保全啓発活動	①定期周辺清掃（毎月1回） ②地域イベントの参加 ③施設見学・情報交換会の実施	継続して実施中（達成率100%） ・従業員が別々に出社時に本事業所周辺の地域清掃を実施、地元の催事など地域と親交を図っています。 ・施設見学を随時受け付け、開催しています。 ・行政から個人の処理困難物の問い合わせの対応	本社

7 環境経営目標に対する実績

実績と達成状況

	項目	単位	R2.4~ R3.3	R3.4~ R4.3	R4.4~R5.3		
			実績	実績	目標	実績	達成率
1	二酸化炭素排出量の削減	原単位 (総kg-CO ₂ / 売上千円)	0.43	0.62	0.61	0.71	85.9%
	二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	351,755	478,751	—	441,632	—
	電力使用量	kWh	121,693	435,683	—	434,377	—
	ガソリン使用量	ℓ	4,962	4,558	—	4,047	—
	軽油使用量	ℓ	98,126	95,148	—	89,635	—
2	一般廃棄物排出の削減 (事業系ごみ)	kg/年	862	838	830	786	105.6%
3	水使用量の削減	m ³ /年	672	656	653	550	119.8%
4	化学物質の適正管理	運搬・保管時 の適正な取り 扱い	適正	適正	適正	適正	100%
5	収集運搬の効率化の推進	円(走行1km あたりの売上 額) 【走行距離/ 売上額】	1,958円	1,919円	1,929円	1,571円	81.41%
6	グリーン調達の推進	% (購入割 合) 【対象購入額 /総購入額】	78.5%	82.7%	83.0%	87.9%	106%
7	社会貢献・地域コミュニ ケーション	—	実施	実施	継続実施	実施	100%

購入電力の排出係数は令和4年度分は、本社・尼崎事業所は0.350kg-CO₂/kwh(関西電力(株)令和3年度実績)、亀岡工場は0.470kg-CO₂/kwh(伊藤忠エネクス(株)令和3年度実)を使用(購入電力の排出係数は調整後)

※二酸化炭素排出量の電力、ガソリン、軽油の使用量は副次的な指標として使用。

※原単位算出に使用した売上高は、当該データの集積期間(4月~3月)に対応する期間の売上高を使用

(1ページに記載の全社売上は、経理年度ベース)

8 環境関連法規の遵守状況

法規制等	おもな法的要求事項	状況
廃棄物処理法	業許可に関する事項・収集運搬、処分の基準・積替保管基準・委託契約・帳簿・マニフェスト管理・実績報告・一般廃棄物の適正管理	遵守
産業廃棄物条例 (兵庫県・尼崎市)	事業者の責務・処理に関する環境配慮・実績報告	遵守
京都府産業廃棄物条例	事業者の責務・処理に関する環境配慮・実績報告	遵守
三重県産業廃棄物条例	事業者の責務・土地所有者等の義務・処理に関する環境配慮・実績報告	遵守
道路交通法	安全運転管理者の設置・運行記録・運転者の遵守事項	遵守
労働安全衛生法	事業者の責務・安全衛生教育・健康診断	遵守
消防法	危険物の貯蔵、取扱い・移送に関する遵守事項	遵守
浄化槽法	届出・使用準則の遵守・定期検査（年1回）	遵守
水質汚濁防止法	届出・施設の構造基準・定期検査	遵守
毒物劇物取締法	毒物劇物の取扱いに関する遵守事項	遵守
オフロード法	事業者の責務・規制対象車両の使用	遵守
大阪府・兵庫県条例 (ディーゼル車規制)	Nox・PM基準不適合車の運行禁止（対策地域）	遵守
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器の簡易点検及び定期点検の実施と記録の保管	遵守

- ① 環境関連法規等の遵守状況を確認した結果、違反した事実はありません。
また関係当局よりの違反の指摘および訴訟は過去3年ありません。
- ② 地域住民および関連する機関からの苦情もありませんでした。

9 代表者による全体の評価と見直し・指示

本年度は途中で体制の変更がありましたが、各自が自分の役割を理解して活動に取り組んでいただけたと思います。残念ながら目標未達の項目が多いですが、亀岡工場の稼働時間の延長など原因はわかっており、皆さんの取り組みに問題があったものではありません。次年度は亀岡工場の新設備の本稼働も始まるのでさらに電力使用量は増加しますが、廃棄物として処理されていたものをマテリアルリサイクルし商品化する事業であり地球環境に貢献できる事業ですので、できるだけ早期に設備の安定化、データ収集を行って適切な環境目標を設定し、新たな取り組みを展開して行ってください。

【確認事項】

- ・ 環境経営方針
- ・ 環境経営目標及び環境経営計画の内容と結果
- ・ 実施体制
- ・ 問題点の是正処置と予防措置の結果

【見直し・指示事項】

環境経営方針及び実施体制の見直しは行わず、環境経営目標及び環境経営計画の見直しを行ってください。電力使用量の増加は間違いのないので、適切な環境目標の設定と新たな取り組みを検討してください。

問題が発生した際は、各事業場の管理責任者は原因を明確にして全社員に正確な情報が行きわたり、早急に改善できるよう取り組んでください。

各関係法令の遵守の徹底をお願いします。定期的な外部有識者顧問のチェック、勉強会を受け、各自のスキルアップを心掛けてください。

令和 5年 5月 20日



株式会社 利昌

代表取締役 森田 秀人